

管内施設のご案内

献血ルーム MEET

〒310-0015 茨城県水戸市宮町1-7-31
水戸駅ビルエクセルみなみ6F
TEL.029-224-9226

■JR水戸駅改札から南口へ徒歩1分、エクセルみなみビルの6Fです



水戸赤十字病院

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48
TEL.029-221-5177

■JR水戸駅北口から徒歩約15分
■JR水戸駅北口バス乗り場〔(茨城交通)日赤直行バス〕〔日赤・城東・若宮団地〕行きに乗車、約10分程で「日赤病院」にて下車



日本赤十字社茨城県支部乳児院

〒310-0914 茨城県水戸市小吹町 2673-1
TEL.029-240-3800

■JR水戸駅北口6番乗り場〔(関東鉄道バス)石岡・鉾田・小川・平須・卸センター・奥ノ谷坂上・明光台〕行きに乗車、約20～30分程で「国土交通省前」にて下車、徒歩約15分



日本赤十字社茨城県支部

〒310-0914 茨城県水戸市小吹町2551
TEL.029-241-4516

■JR水戸駅北口6番乗り場〔(関東鉄道バス)石岡・鉾田・小川・平須・卸センター・奥ノ谷坂上・明光台〕行きに乗車、約20～30分程で「国土交通省前」にて下車、徒歩約10分



古河赤十字病院

〒306-0014 茨城県古河市下山町1150
TEL.0280-23-7111

■駐車場 / 309台
■JR古河駅から車で約10分
■JR古河駅東口バス乗り場 (JRバス) 古河日赤病院構内まで入るバスは35系統です



つくば供給出張所

〒305-0821 茨城県つくば市春日1-10
筑波メディカルセンター健康増進センター Act
TEL.029-860-2501

■つくばセンターバスターミナル6番乗り場〔(関東鉄道バス)筑波大学循環〕に乗車、約5分程で「筑波メディカルセンター前」にて下車、徒歩約1分



つくば献血ルーム

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻 1-10-1
つくばセンタービル 2F
TEL.029-852-7888

■TXつくば駅A3出口/つくばセンターバスターミナルから徒歩約3分、つくばセンタービルの2Fです



茨城県赤十字血液センター

〒311-3117 茨城県東茨城郡茨城町桜の郷 3114-8
TEL.029-246-5566

■JR水戸駅北口バスターミナル6番乗り場〔(関東鉄道バス)水戸医療センター〕行きに乗車、約40分程で「桜の郷(さくらのさと)」にて下車、徒歩約1分
■JR赤塚駅南口バスターミナル4番乗り場〔(茨城交通バス)水戸医療センター〕行きに乗車、約25分程で「桜の郷」にて下車、徒歩約1分



ごあいさつ



赤十字は、アンリー・デュナン(ス
イス人：第一回ノーベル平和賞受
賞者)が提唱した「人の命を尊重
し、苦しみの中にいる者は、敵味
方の区別なく救う」ことを目的とし、
世界192の国に広がる赤十字・
赤新月社のネットワークを生かして
活動する組織です。

日本赤十字社はそのうちの一社
であり、西南戦争における負傷者

救護で初めての活動を行って以来、苦しむ人々を救うために国内外
における災害救護をはじめとした幅広い分野で活動しています。

日本赤十字社茨城県支部には、支部事務局のほか、水戸赤
十字病院、古河赤十字病院、茨城県赤十字血液センター、日本
赤十字社茨城県支部乳児院が設けられ、災害救護や青少年赤
十字事業をはじめとして、ボランティアの育成・支援、災害拠点
病院として地域に医療を提供する医療事業、献血や血液の供給
といった血液事業、さまざまな事情によって親との生活が困難な
乳児を保護し、養育する社会福祉事業などを行っています。

これらの事業は、「苦しんでいる人を救う」という日本赤十字社の
使命のもとに成り立っているものであり、社会課題の解決に向けて
変化に柔軟に対応しながら、私たちは日々業務に取り組んでいます。

グローバル的にもウクライナ危機、民族弾圧、児童労働等が
問題視されている中で、「人のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字
の役割が改めて注目されています。そんな赤十字の明日をと
もに担っていく意欲のある方々を心からお待ちしています。

日本赤十字社茨城県支部 支部長

寺門一義

日本赤十字社とは

日本赤十字社は、日本赤十字社法に基づいて設立された認可
法人です。

日本赤十字社には、本社(東京)や全国47都道府県にある支部
をはじめ、91の赤十字病院、20の看護師等の教育機関、229の
血液事業施設、28の社会福祉施設があり、これらの施設には、
約6万8千人の職員が勤務しています。

このように、日本赤十字社の事業は多岐にわたっており、すべ
ての事業は「苦しんでいる人を救う」という日本赤十字社の使命の
もとに成り立っています。

日本赤十字社の使命

わたしたちは、

苦しんでいる人を救いたいという

思いを結集し、いかなる状況下でも、

人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

求められる人物像

人との繋がりを大切にし、信頼関係を築く力

多様化する社会・環境に柔軟に対応する力

課題や問題点を見出し積極的に行動する力

募集概要

- 募集職種 事務系総合職
- 採用人数 若干名
- 採用期日 令和6年4月1日
- 配属先 日本赤十字社茨城県支部、水戸赤十字病院、古河赤十字病院、茨城県赤十字血液センター、日本赤十字社茨城県支部乳児院のいずれかに配属します。
※採用後は、上記の赤十字施設間で異動することがあります。

- 応募資格 ●4年制大学学部を卒業した方または令和6年3月までに卒業見込みの方
●平成6年4月2日から平成14年4月1日の間に生まれた方
●普通自動車運転免許を有している方(AT限定も可。未取得者は、入社時までに取得のこと。)

- エントリー マイナビ2024にて「日本赤十字社茨城県支部」へのエントリーが必須となります。
※エントリーされた方に対し、会社説明会等のご案内をさせていただきます。※エントリーのみでは応募完了にはなりません。

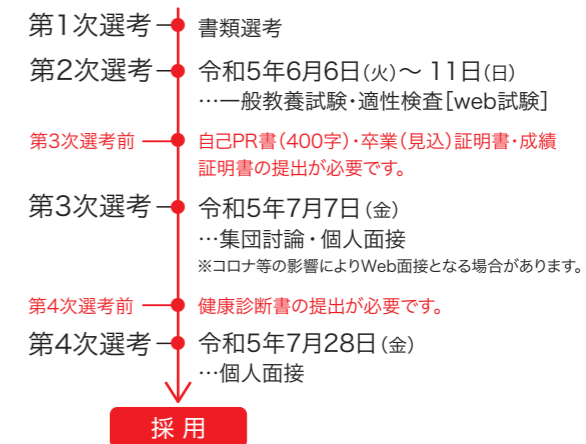
- 募集期間 令和5年3月1日～令和5年5月31日(必着)

- 応募方法 履歴書[指定様式]を日本赤十字社茨城県支部あて郵送かメールにてお送りください。
※履歴書は、エントリーされた方に指定様式をお送りいたします。

- 提出先 郵送/〒310-0914 水戸市小吹町2551
日本赤十字社茨城県支部 総務課 あて
※封筒に「職員採用試験応募書類在中」と朱書きしてください。
メール/ saiyou@ibaraki.jrc.or.jp

- 問合せ TEL:029-241-4516(採用担当)

■選考方法



- 基本給 185,200円
※職歴のある方は当社規程に基づき、前歴換算します。

- 諸手当 扶養手当、地域手当、通勤手当、住居手当、時間外手当等
※地域手当は、配属施設の所在地によっては支給されません。

- 昇給 年1回
- 賞与 年2回
- 休日 年間休日120日前後
※休日数は、勤務先によって若干異なります。

- 就業時間 1週間 38時間45分
※始業・終業時刻は、勤務先によって異なります。

- 休暇 年次有給休暇(24日)、特別有給休暇(結婚、出産、ボランティア休暇等)

- 福利厚生 社会保険、企業年金基金、グループ保険、育児休業制度、育児短時間勤務制度、退職金制度 等

教育・研修制度

大きく変化する社会情勢に柔軟に対応しながら、人道の精神に基づく赤十字事業を運営することができる職員の育成を目指しています。配属先での実務を通して経験や知識を習得するOJTをメインに、経験年数や役職に応じて期待される能力を身につける階層別研修、ビジネススキルを自分のペースで学べるe-ラーニング制度など、職員一人ひとりが主体的にスキルアップできるような体制を整えています。赤十字の使命である救護活動を実際の

災害現場で円滑に遂行するため、災害時を想定した訓練や研修に参加する機会もあります。

また、各事業に特化した内容の研修を、施設・事業単位で実施しています。制度面では、仕事の成果や目標の達成状況を客観的に評価する制度の導入など、職員のモチベーション向上に役立つ体制の整備に取り組んでいます。

さまざまな業務を経験してキャリアアップ

業務紹介

事務系総合職の業務は、人事や経理など、どの企業・団体にも不可欠な業務から、災害発生を想定した訓練

の実施、救急法講習の指導、血液製剤の保管・運搬などの赤十字特有の業務まで、多岐にわたります。

これらすべての仕事の根幹にあるのは、「苦しんでいる人を救う」という赤十字の使命であり、

幅広い視点で赤十字運動を推進していく役割が求められています。

部署異動、施設間異動や官公庁への出向などで多様な業務に触れ、経験を積むこともできます。

ここでは、実際に配属される可能性がある施設ごとに、その業務内容を紹介します。



日本赤十字社茨城県支部

茨城県水戸市小吹町2551

・合計職員数 / 17名
・事務系職員総数 / 17名
・男女数 / 12名・5名 ※事務系職員

日本赤十字社茨城県支部は、全国47都道府県にある日本赤十字社の支部のひとつとして、1888年(明治21年)の創設以来、130年以上にわたって茨城県内の赤十字活動を展開しております。

赤十字の根底にある理念「人道」を掲げ、災害救護をはじめ、国際救援・開発協力、安全講習会普及、ボランティア活動、青少年赤十字活動、国際人道法普及など、職員は非常に少ない事業所ですが、さまざまな事業を行っています。

これらの活動は、赤十字ボランティアをはじめとする多くの方々によって支えられており、感謝の気持ちを常に持ちながら、職員は日々業務に励んでいます。



●事務系職員所属部門一覧

・総務課 ・組織振興課 ・事業推進課



水戸赤十字病院

茨城県水戸市三の丸3-12-48

・合計職員数 / 616名
・事務系職員総数 / 96名
・男女数 / 26名・70名 ※事務系職員

事務系総合職の職員は、病院事務として、主に病院運営に関わる業務を担当しています。労務管理や経営企画、物品調達、地域連携、災害対応など幅広い業務を担い、赤十字精神に基づいた全人的医療の提供を支えています。医師や看護師、薬剤師など多様な職種が働く病院において、職種間の橋渡し役として管理や調整を行うのも大切な仕事です。患者対応に加え、行政機関や取引業者などのさまざまな人と関わることが多く、コミュニケーション能力や臨機応変な対応が求められます。

病院のあらゆる仕事は、患者の皆さまが安心して良質な医療を受けることに繋がっています。責任とやりがいをもち、地域医療に貢献できる仕事です。



●事務系職員所属部門一覧

・総務課 ・企画課 ・秘書広報室 ・渉外・保安室
・財務課 ・調度管財室 ・医事課 ・業務支援室
・医療情報管理課 ・健診課 ・地域医療連携課



茨城県赤十字血液センター

茨城県東茨城郡茨城町桜の郷3114-8

・合計職員数 / 173名
・事務系職員総数 / 69名
・男女数 / 49名・20名 ※事務系職員

血液センターは、日本赤十字が展開する9つの事業のうち「血液事業」を担う施設です。血液を提供(献血)していただける方を募集し、その血液を採取、医薬品である血液製剤として製造を行い、輸血による治療を必要とする患者さんのため、医療機関に供給するまでが一連の事業となります。血液製剤は、人工的に作り出すこと、また、長期保存することもできませんので、必要とされる血液が不足することのないよう、移動採血バス、献血ルームの運用により、日々血液の確保に努めています。

また、将来にわたって安定的に血液を確保していくため、情報発信やセミナーの開催等、「献血」の普及・啓発活動も行っています。



●事務系職員所属部門一覧

・総務課 ・品質情報課 ・医務課 ・献血推進課
・学術情報・供給課
[出張所] ・水戸出張所※ ・つくば出張所※
・つくば供給出張所 (※献血ルームです)



古河赤十字病院

茨城県古河市下山町1150

・合計職員数 / 371名
・事務系職員総数 / 41名
・男女数 / 20名・21名 ※事務系職員

古河市は、茨城県の最西端で埼玉県、栃木県、群馬県の4県との県境に位置し、宇都宮線で都内まで約50分、大宮まで約35分と交通の利便性が良く住みやすい街です。

当院は、地域医療支援病院、災害拠点病院を掲げ、赤十字の理念に基づき、地域に根差した安全・安心な医療を提供しています。今回ご紹介する事務部門は、一般病院と同様の各事務部門の他に、プロジェクトへの参画、災害救護チームへの参加など、病院の中核となって自己成長し、リーダーシップを存分に発揮できる場が用意されています。

また、日本赤十字社の施設ですので、企業年金制度や育児・産休制度、介護休暇制度など福利厚生が充実しており、将来にわたって安心して働くことができる職場です。



●事務系職員所属部門一覧

・総務課 ・経営企画情報課 ・財務課
・医事課 ・医療社会事業課



日本赤十字社茨城県支部乳児院

茨城県水戸市小吹町2673-1

・合計職員数 / 45名
・事務系職員総数 / 3名
・男女数 / 0名・3名 ※事務系職員

乳児院は、児童福祉法に基づき認可・設立された福祉施設で、家庭のさまざまな事情により養育困難となった小学校就学前までの乳幼児をお預かりし、昼夜にわたって必要な期間養育する施設です。

業務は、人事・労務・会計・用度・庶務など事務全般を少人数で担当し、デスクワークのみならず関係機関や保護者、ボランティアの方々の対応など多岐にわたります。他職種のスタッフと共に子どもたちの成長を見守り、笑顔に癒されながらアットホームな雰囲気の中でやりがいを感じられる仕事です。



「人のために働く」に直結した業務内容に共感し入社を決めました。

落合 寿史さん

日本赤十字社茨城県支部勤務 [2016年新卒入社]



■ 担当業務

IT担当としてICT化・デジタル化を目的とした会議運営やICT導入、IT資産管理業務を行うとともに、用度担当として災害救護資機材をはじめとした物品発注及び管理を行っています。

Q1 入社理由やきっかけ

私の就職活動の軸は、「お金のために働かない。人のために働く」でした。そして、就職サイト内で「人間を救うのは、人間だ。」というスローガンを掲げた日本赤十字社を見つけ、災害救護や病院経営、献血業務、その他すべての活動が「人のために働く」に直結した業務内容であり入社を志望しました。

Q2 やりがい・魅力をどんなところに感じますか？

災害発生時にさまざまな被災者支援を行うことができる点です。災害発生後、速やかに被災地にて被災者に医療を提供することはもちろん、毛布などの救援物資の配布や義援金の募集など、人が困っている時に手助けすることができる仕事が日本赤十字社の魅力であり、やりがいです。

Q3 大変だったこと、苦労したことはありますか？

忙しさが突然にやってくることです。私が災害救護を担当していた際、水害や震災など多数の災害が発生しました。発災後、すぐに日常業務とは全く別の業務となり忙しく、ストレスに感じることもありました。

しかし、すべて困っている人を困っている時に救うためであり、実際に被災者から感謝の言葉をいただいた時には、この仕事をしていて良かったと感じました。

学生へのメッセージ

会社選びは非常に不安だと思いますが、「人を助けることがしたい」「誰かの役に立ちたい」といった思いを持った職員がいるのが日本赤十字社です。もし、同じ思いを持っているならば、同じ思いを持った我々と働きませんか。優しい気持ちを持ったあなたと一緒に仕事をできる日を楽しみにしています。

DAILY WORK SCHEDULE

- 9:00 メール確認
- 9:30 新規導入システムマニュアル作成・職員周知
- 12:15 昼食
- 13:00 デジタル推進に関する会議資料作成
- 15:00 物品発注・見積もり依頼
- 17:30 終業

充実した教育体制で成長を後押ししてくれる働きやすい環境です。

須貝 瑞穂さん

水戸赤十字病院勤務 [2021年新卒入社]

Q1 入社理由やきっかけ

多くの人の健康を支える仕事に魅力を感じたことがきっかけです。元々人の役に立つことがしたいと思い献血をしていました。近年災害が多発する中で少しでもその助けとなりたかったこと、就職活動期間中に新型コロナウイルス感染症が感染拡大していたこともあり、より近くで人々の健康を守る助けをしたいと考え入社しました。

Q2 入社後のギャップを感じましたか？

病院についてあまり知識がなく、入社するまでは、病院の仕事に診療行為の計算や会計といったイメージしかありませんでした。入社後、病院事務といってもさまざまな業務があることを知りました。医事課に配属された当初は、診療報酬請求の仕組みも分からず不安でしたが、先輩方に丁寧に教えてもらい、安心して業務に当たることができました。

Q3 仕事で大切にしていることは何ですか？

相手の目線に立って考えることを大切にしています。患者さまやご家族から入院費の会計に関する不明点などについて問い合わせがあった際、相手が何を聞きたいのかをよく確認し、分かりやすい言葉で丁寧に説明することを心がけています。

学生へのメッセージ

病院事務は医師や看護師などの多職種と関わることもあります。私は医療関係の学校出身ではなく医療に関する知識がほとんどありませんでしたが、周囲の方の手厚いサポートのおかげで、次第に自信を持って仕事に取り組めるようになりました。研修等も充実しており、成長を後押ししてくれる環境です。皆さんもぜひ一緒に働きませんか。



■ 担当業務

入院患者さまの情報登録や、手術で使用した材料の入力、入院費の会計作成、診療報酬請求業務を行っています。私は、泌尿器科や皮膚科の患者さまが多い病棟を担当しています。

DAILY WORK SCHEDULE

- 8:30 入院未取込(エラー) データ確認
- 9:30 退院会計作成
- 11:00 入院患者情報登録
- 12:00 昼食
- 13:00 手術記録の確認及び材料入力
- 14:00 在院患者診療内容確認
- 16:00 翌日退院患者診療内容確認
- 17:00 終業